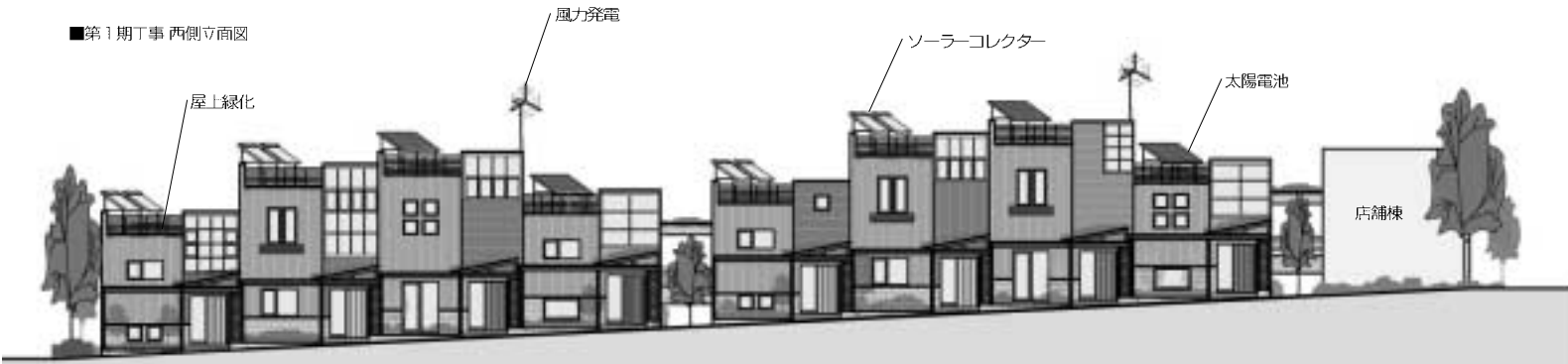
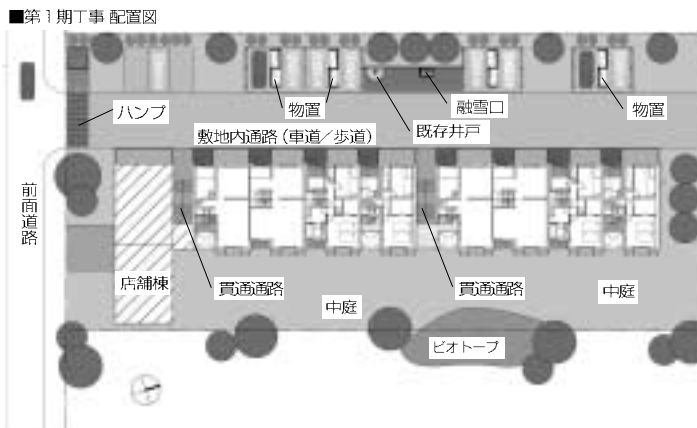
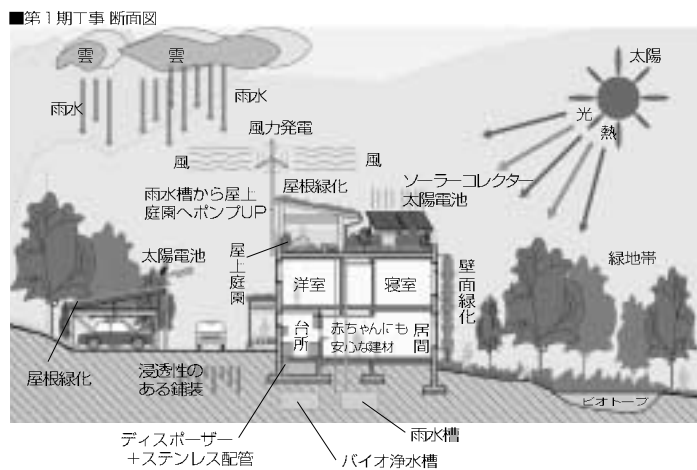




「藻岩下エコビレッジ計画」

第1期工事の基本案がまとまりました。

これは2248㎡(680坪)の敷地に9～10世帯の住宅棟と店舗併用住宅が並び、連棟タウンハウス型の北海道で初めての環境共生住宅団地です。



コンクリートブロック造りの外断熱工法室内は健康素材、冬暖かく夏は涼しい快適空間。外壁仕上げはレンガや木の板壁にできるといいなー。室内は住人の自由設計。広さも24～40坪まで予算に合わせて。エコ設備や周辺環境整備は、参加者のみなさんと話し合いながら決めていきます。

自然の中で暮らしてみたい方、エコショップやエコレストランを開いてみたい方など。まだまだ募集しております。

エコビレッジに住みたい人集ま

緑と暮らす住まいづくり
「藻岩下エコビレッジ計画」
まだまだ参加者募集中!

緑に囲まれたビレッジには子供や虫たちのための森や菜園や池があり、木の板で覆われた住宅の屋根や壁にも緑がある。こんな自然あふれる札幌・藻岩山で暮らしてみたいと思いませんか？興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

エコビレッジ実行委員会事務局
TEL 011 (774) 8599 まで

自然素材に囲まれた、気持ちの良い家づくり

エコロジー住宅・建築・設計・監理・コーディネート

住環境、自然素材に関するご相談やご質問を承っております。
商品に関するお問い合わせもお気軽にどうぞ。

一級建築士事務所
(有) 西條インテリアデザイン

☎ 011 (774) 8599 ☎ 011 (774) 8581

ホームページ <http://www.saijo-d.com>

エコビレッジ計画の詳しい内容がご覧になれます

本社 / 札幌市北区百合が原4丁目8の1 (百合が原公園向かい)
伊達支店 / 伊達市舟岡町50-28 ☎0142 (22) 0138



一級建築士事務所
(有) 西條インテリア
デザイン
代表取締役

■筆者・西條正幸プロフィール■
エコロジーデザイナーです。
伊達市出身 昭和35年生まれ40歳
札幌を中心に商業施設のインテリアデザイン
ーとして活動してきましたが、現在は人と環
境にやさしい居住空間をテーマにエコロジ
ー建築の設計から施工の相談、エコロジー建
材のコーディネートなどに応じています。

エコロジー 素材自店 そざいじてん

〈OUR COMMON FUTURE〉



▲イギリス・古都チェスターの街並み。

英国のエコロジーに対する取り組みを見学に行ってきました。今回はこの旅の報告です。
今回のエコツアーは、英国の田舎にある3つのエコロジーテーマパークを見学する旅でした。
目玉は超有名なウェールズのスレート鉱山の廃鉱後に建てられた「CAT」。
25年も前に始められた環境共生のコミュニティで、今は自然エネルギー・自然農法・環境教育の学習施設と、エコレストラン・エコショップを備えたエコロジーパークとなっています。

コミュニティの居住スタッフとボランティアにより運営され、長い年月をかけて今も少

エコつてる、エコりたい人のための
エコ素材自店、第12回の店開きです。



▲CATセンター入口。

しずつ手を加えられながら成長する「CAT」は、手作りで素朴な体験型エコビレッジといった様相です。ここで消費される電力は、風力・水力・太陽光の自然エネルギーと補助のディーゼル発電によりまかなわれ、木チップのバイオマス温水ボイラーを合わせた熱エネルギー・自給のしくみを観ることが出来ます。山頂には売電専用の風車も建てられ、運営費に当てられています。

残る2つのテーマパークはまだ新しく、今も工事を行っている施設もあります。

フレックランドにある「Eco-TECH」と、ドンカスター郊外にある「EARTH CENTER」で、CATの精神を受け継ぎ、持続可能な社会を目指すための様々な試みと教育プログラムを持つ先進的なエコロジーパークとなっていて、衰退した地域活性化の核としても期待され、環境ビジネスの今後の行方を占う意味でも注目されそうです。

これらのテーマパークが目指すもの

「OUR COMMON FUTURE」
直訳すると私達の共通の未来。この地球環境を守り、人類がこの星に生き続けるために

は、僕たち自身が大規模な生活の転換をしなければならぬということとです。

そのためには、僕たちの身近にもこういったエコテーマパークやエコビレッジがたくさん生まれ、子供たちやそのまた子供たちが安心して暮らしていける環境を守るために、今できることをはつきりと認識することが必要だと思いました。

目先の安全や健康だけではなく、50年後、100年後の地球にもやさしい家づくりと素材選びが本当に必要なのです。

5月から、持続可能なまちづくりのための「市民エコロジー住宅学校」講座を始めようと思います。

その時に、スライドを交えながら詳しくお話したいと思いますので、みなさんの参加、お待ちしております。

(本誌 P175参照)



▶エコロジーパーク。
バッシンソーラー建築のEco-TECHセンター棟。